



“シャキッ” と新聞



第70号

2012.12.14

西中PTA執行部 発行

責任者 高橋 敦志

今月の“シャキッ”とする週間
12/17(月)～12/21(金)

ついこの間鈴虫の声を聞いたと思っていたのに、もう12月も半ばとなり今年も残りわずかとなりました。私たち西中PTAは、会員の皆さま・地域の皆さまのご理解とご協力に支えられて日々の活動を行っております。一年間どうもありがとうございました。また、来年もどうぞよろしくお願いたします。

12月15日(土)・22日(土)に、「スポーツクラブ21いな」の皆さまのご厚意で、門松作りが行われます。地域の皆さまのご協力により気持ちも新たに良い年が迎えられそうです。西中の前を通られる際にはぜひご覧になってください。

教育懇談会に出席しました！



11月7日(水)10時より総合教育センターにて、伊丹市教育委員会事務局との教育懇談会に出席しました。木下誠新教育長を始め、22名の教育委員会事務局の皆さんと伊丹市内26校のPTAとの懇談会です。最初に各校からの要望書を提出し、その後小学校部会・中学校部会に分かれ、それぞれのテーマに沿って懇談会が行われます。その中の一部を紹介させていただきます。詳細につきましてはPTA室に議事録がありますので、ご覧になりたい方は執行部までお声かけください。

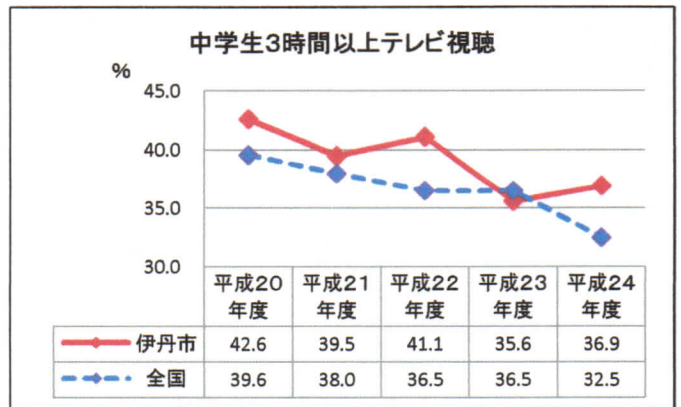
◆ テーマ 学力テストについて ◆

「全国学力・学習状況調査」及び「伊丹市学習到達度及び学習意識調査」今年度は抽出校(4校)による調査でしたが、ほとんどの教科において全国平均を下回る結果となりました。

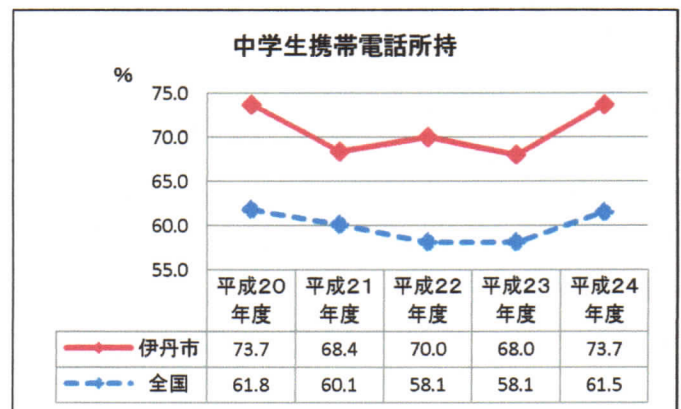
グラフからわかるように、テレビ視聴時間や携帯電話所持において、共に全国平均を上回っています。家庭学習の時間が少ないのは、テレビや携帯電話に費やす時間が多いことと関係があると思われます。共働きの家庭が増えていること、子ども部屋にテレビがある等、子ども部屋の環境が充実してきていること、核家族化が進み、祖父母と一緒に暮らしている家庭が少なくなっていること等、大人の目が子どもに行き届いていない時間が増えているのかもしれない。とはいえ、生活環境を変えることは難しい今の時代、私たち保護者に出来ることは何なのか？冬休みを前に、一度家庭で話し合ってみるのも良いのではないのでしょうか。

反抗期まっただ中の子どもたちに、ルールや約束事を守らせることは、なかなか難しいことではありますが、高校受験を控えた子どもたちです。多少の学力は親としてつけてやりたいものですね。

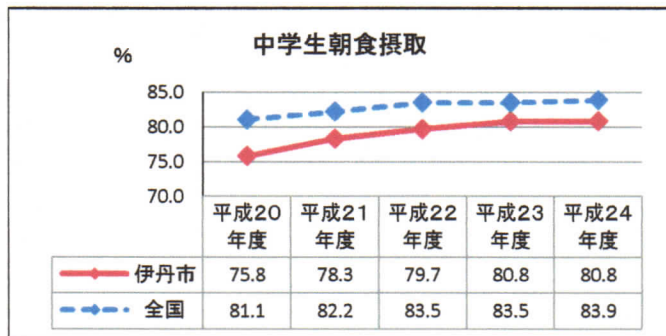
普段(月～金曜日)1日当たり3時間以上、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする生徒の経年比較



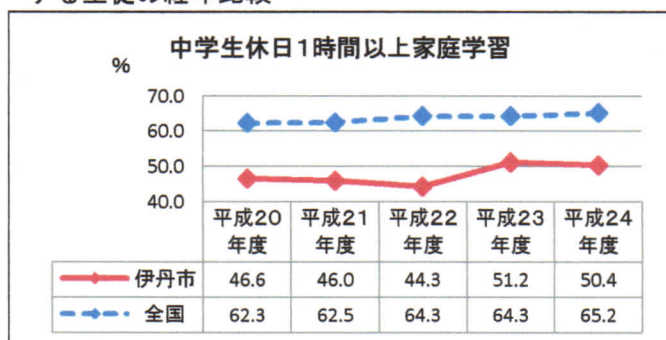
携帯電話で通話やメールをする生徒の経年比較



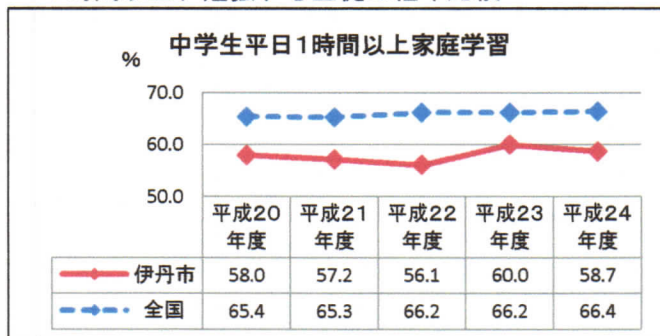
朝食を毎日食べる生徒の経年比較



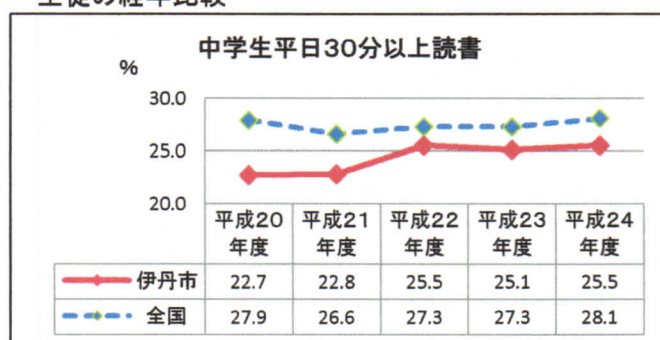
学校の休みの日に1日当たり1時間以上、勉強する生徒の経年比較



普段（月～金曜日）学校の授業以外に1日当たり1時間以上、勉強する生徒の経年比較



普段（月～金曜日）1日に30分以上読書をする生徒の経年比較



※平成23年度の全国学力・学習状況調査は震災の影響により実施されなかったため、平成23年度の全国は平成22年度のデータを表示しています。

原田 實先生『瑞宝双光章』の受賞、おめでとうございます！

西中学校第13代校長 原田 實先生が、平成24年秋の叙勲において『瑞宝双光章』を受章されました。

原田先生は平成7年4月から平成9年3月までの2年間、西中学校で校長先生をされていました。平成7年4月という、阪神淡路大震災が起きて間もない頃で、子どもたちだけではなく大人もみんな不安な中で復興に向けて頑張っていました。そんな中を西中の子どもたちと過ごして下さった先生です。



会長のひとりごと

秋を盛り上げるように色とりどりの葉っぱで着飾っていた木々たちも、今では身軽になり、今度は真冬を演出するかのようには寒風に吹かれています。しかしそこには、冬を一生懸命乗り切り、次に来る春を心待ちにしているかのような凛とした力強さも感じます。平成24年も、はや「もういくつ寝ると・・・」なんて言葉が飛び交う時期になりました。12月はクリスマス、そして新しい年を迎える準備をするなど、華やかで賑やかな月でもあります。そんな中、先生方は子どもたちに「次に来る春」を最高のものにしてもらおうと、日々駆けずり回ってくれています。「師走（しわす）」たる所だと思います。

子どもたちにはそんな先生方の思いをいっぱい感じてもらいたいと思います。子どもたちにとって今は一番大切な時です。せんえつではありますが、私がいつも心に置いている（勝手に作った造語です）言葉を紹介したいと思います。『今できる精一杯！』今という時は今しかありません。何事もどんなことも、今できる最高の頑張りをし、悔いの残らないようにしたいという意味でいつも心に留めています。

子どもたちには、今という時を大切にしてほしいと思います。そして、次の春には、駆けずり回ってくれた先生方を笑顔に「師笑（しわらわす）」とでもしてもらいたいと思います。（高橋 敦志）

平成25年最初の“シャキッ”とする週間は、1/21(月)～1/25(金)です。
新年を迎えて最初のシャキッと週間です。是非皆さん参加して下さい。